

2024年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】			所管課	産業連携開発課
施設名	須坂市技術情報センター			
所在地	須坂市大字井上1835番地1			
施設設置目的	IT機器を利用した産業支援、テレワーカー等情報技術を活用できる人材の育成、産業人材の育成及び各種行政情報を発信する市民サービス等の提供を図る。			
施設概要・設備	【建物の構造】 鉄骨2階建 延べ床面積668.47㎡ 敷地面積1,000㎡ 耐用年数38年 【施設の内容】 1階: 多目的セミナールーム・パソコンルーム・事務室 2階: テレワーク室1・テレワーク室2・共用機器室			
建設年月	2000年4月	指定管理 開始年月	2010年4月	

【指定管理概要】

指定管理者名	(特非)信州SOHO支援協議会
指定期間	2023年4月1日～2026年3月31日
業務内容	利用の許可、許可の取り消し並びに利用の制限及び停止に関する業務 施設及び備品等の維持管理に関する業務 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 自主事業に関すること 施設利用者へのアンケート調査
職員体制	常勤:2名 非常勤:3名 相談員:1名 合計:6名
(専門職、役職等内訳)	所長、相談員

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績				対前年比	対目標値
			2022年度	2023年度	2024年度			
利用件数	件	1,500	937	1,062	1,515	142.7%	101.0%	
利用者数	人	9,000	5,611	5,495	6,936	126.2%	77.1%	
特記事項								

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市			
科目		予算額	決算額	科目		予算額	決算額
収入	指定管理料	12,700	12,700	収入	使用料・手数料	0	0
	使用料・手数料	990	1,141				
	その他				その他		
	収入計	13,690	13,841		収入計		
支出	人件費	7,460	7,561	支出	指定管理料	12,700	12,700
	需用費	5,606	5,058		修繕費	265	0
	役務費	596	527		備品購入費		
	その他	38	31		その他		
	支出計	13,700	13,177		支出計	12,965	12,700
管理事業損益 (a)		-10	664	管理事業損益		-12,965	-12,700

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	664
---------------------------------	-----

特記事項	昨年度に比べ収入を増やし支出を減らし黒字を増加させた
------	----------------------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	・各種IT講習会 ・子供プログラミング教室 ・レーザー加工機を使ったものづくり ・ミニドローン体験 ・情報センター科学クラブ ・デジタルの日、オープンデータ日関連イベント
--------	---

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
各種IT講習会	187	187	
子供プログラミング教室	191	191	
レーザー加工機を使ったものづくり	510	510	
ミニドローン体験	61	61	
情報センター科学クラブ	400	400	
デジタルの日などイベント	442	442	
合計	1,791	1,791	自主事業損益(b)
			0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	実施時期:随時 調査対象:利用者・自主事業の受講者 調査方法:アンケート(紙とオンライン併用)
	(2) 調査等の結果
	アンケート回収:68件
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	・(プログラミング教室)始めは難しくて苦戦したけど後から一人でも出来るようになって嬉しかった ・(IT講習会)楽しく勉強できました。また、機会があったら、受講したいです ・(IT講習会)WordやExcelの講座をもっと多くやってほしい ・わからないところを相談にのってくれるのありがたい ・スマホでわからないことを聞きにこれる場所があるのがとても助かる
	(2) 苦情・改善の要望
	・WordやExcelの講座をもっと多く定期的にやってほしい
③対応措置	・講座は需要を見ながら定期的に企画していきます

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	2
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	1
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	△	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	2
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 13 点

総合評価 B'

評点

- ・各項目の評価に○があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

今年度もSNSでの発信に力をいれ、情報センターの紹介や自主事業講座の案内などしてきたことから、徐々にではありますが効果が見られる事例もできました。情報センターを知ってもらい、パソコン学習コーナーや無料でスマホやパソコンの相談にのるサービスを利用する方も増えました。またイオンモールやその周辺施設の開業準備にセンターを利用していただくケースが増えたことで、利用者数、利用金額ともに前年を上回る結果を残せました。

(2) 課題

もっとより多くの方に情報センターを知ってもらい利用してもらうためにはどうすべきなのか？イオンモール開業にともない、そのお客さんに寄ってもらうにはどうすべきなのか？また人材育成の拠点としての情報センターをどうアピールし利用に繋げていくか。

(3) 次年度以降の取り組み

- ・今年度力を入れたSNSでの発信を引き続き行うとともに、情報センターや信州SOHO支援協議会としての活動をアピールしていきたい。

- ・ネット環境も整っているので、テレワークオフィス、ノマドワークに使ってもらえるようにしていきたい。

- ・ものづくりワークショップや子供プログラミング教室、科学クラブといった活動を通して出来た世代を超えた繋がり、地域との繋がりをもっと広げ、学校の教育活動のお手伝いができればと考えています。

- ・予算の関係上、パソコンやスマホの講習会を開催できないが、相談などでフォローしていきたい。「困ったことがあれば情報センターに聞きに行けばいい」ということを市民の方に周知していきたい。

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

- ・コロナ禍前の利用者は平均8,000人程度で推移していたが、その後5,000人程度に減少、2024年度はインター周辺の企業・施設へ、研修等での利用を促進した結果、利用者が増加したが目標値には到達していない。2025年度はインター近くの利便性を生かし、インター周辺の企業等に利用を促進するなどして利用者数や稼働率を上げる必要がある。

- ・Wi-Fi環境が整い、どこでもパソコンが利用できるようになったことから、施設の役割は果たしたと考え、今年度廃止に向け検討していく。